

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【公表番号】特表2014-510170(P2014-510170A)

【公表日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-021

【出願番号】特願2013-556841(P2013-556841)

【国際特許分類】

C 1 1 D	1/835	(2006.01)
C 1 1 D	17/08	(2006.01)
C 1 1 D	1/62	(2006.01)
C 1 1 D	1/722	(2006.01)
C 1 1 D	1/72	(2006.01)
C 1 1 D	3/30	(2006.01)
C 1 1 D	3/04	(2006.01)
C 1 1 D	3/10	(2006.01)
C 1 1 D	3/20	(2006.01)
C 1 1 D	3/26	(2006.01)
C 1 1 D	3/382	(2006.01)
A 0 1 N	33/12	(2006.01)
A 0 1 P	3/00	(2006.01)
A 0 1 N	25/04	(2006.01)
A 0 1 N	25/30	(2006.01)

【F I】

C 1 1 D	1/835	
C 1 1 D	17/08	
C 1 1 D	1/62	
C 1 1 D	1/722	
C 1 1 D	1/72	
C 1 1 D	3/30	
C 1 1 D	3/04	
C 1 1 D	3/10	
C 1 1 D	3/20	
C 1 1 D	3/26	
C 1 1 D	3/382	
A 0 1 N	33/12	1 0 1
A 0 1 P	3/00	
A 0 1 N	25/04	1 0 1
A 0 1 N	25/30	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年6月3日(2015.6.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

広域スペクトルの液体洗浄組成物であって、該組成物は、各アルキルが、独立して、1乃至7の炭素原子を有する、第1のジアルキル、および各アルキルが、独立して、8乃至25の炭素原子を有する、第2のジアルキル；またはアルキルが12乃至18の炭素原子を有する、N-アルキルジメチルベンジル塩化アンモニウム；またはアルキルが12乃至18の炭素原子を有する、N-アルキルジメチルベンジル塩化アンモニウム、またはその任意の組み合わせを含む、第四級アンモニウムハロゲン；

有機アルコールアミン、強塩基、炭酸ナトリウム、または炭酸水素ナトリウム、またはその任意の組み合わせを含む、アルカリ性剤；

メチルグリシン二酢酸又はその誘導体、イミノジコハク酸又はその誘導体、エチレンジアミンジコハク酸またはその誘導体、カルボキシルメチルイヌリンまたはその誘導体、またはグルタミン酸N、N-二酢酸を含むアルキルグリシン有機酸、またはそれらの任意の組合せを含む、キレート剤；

酸化アルキルアミンを含む、非イオン性界面活性剤のカプラー；

2~20の酸化アルキレンの反復単位を有する、少なくとも1以上のアルコキシル化した非イオン性界面活性剤；および

水、または脂肪族アルコール、またはその両方を含む、溶媒系を含み、

組成物のpHは、7乃至13であり、ここで、第四級アンモニウムハロゲンは、洗浄組成物の総重量に基づいて、5重量%乃至25重量%の量で存在し、アルカリ性剤は、洗浄組成物の総重量に基づいて、3重量%乃至10重量%の量で存在し、キレート剤は、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.2重量%乃至2.0重量%の量で存在し、非イオン性界面活性剤のカプラーは、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.2重量%乃至5.0重量%の量で存在し、およびアミンアルコキシレート非イオン性界面活性剤は、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.4重量%乃至4.0重量%の量で存在することを特徴とする、

広域スペクトルの液体洗浄組成物。

【請求項2】

第四級アンモニウムハロゲンは、洗浄組成物の総重量に基づいて、8重量%乃至12重量%の量で存在し、アルカリ性剤は、洗浄組成物の総重量に基づいて、5重量%乃至8重量%の量で存在し、キレート剤は、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.8重量%乃至1.4重量%の量で存在し、非イオン性界面活性剤のカプラーは、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.75重量%乃至2.5重量%の量で存在し、および高いHLBアミンアルコキシレートは、1.4乃至2.0のHLB値を有する且つ、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.3乃至1.5重量%の量で存在し、および低いHLBアミンアルコキシル化した化合物は、3乃至8のHLB値を有する且つ、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.3乃至1.5重量%の量で存在し、前記キレート剤は、アルキルグリシン有機酸、イミノジコハク酸またはその誘導体、エチレンジアミンジコハク酸またはその誘導体、カルボキシメチルイヌリンまたはその誘導体、またはグルタミン酸N、N-二酢酸、またはその任意の組み合わせを含むことを特徴とする、請求項1に記載の広域スペクトルの液体洗浄組成物。

【請求項3】

第四級アンモニウムハロゲンは、ジオクチルジメチル塩化アンモニウム、ジデシルジメチル塩化アンモニウム、前記N-アルキルジメチルベンジル塩化アンモニウム、およびN-アルキルジメチルエチルベンジル塩化アンモニウムを含み、

アルカリ性剤は、モノエタノールアミン、トリエタノールアミン、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、炭酸ナトリウム、および炭酸水素ナトリウムの1つ以上であり、

直鎖アルコールは、2乃至4の炭素原子を有する且つ、洗浄組成物の総重量に基づいて、2乃至20重量%の量で存在し、

キレート剤は、アルキルグリシン有機酸、イミノジコハク酸、エチレンジアミンジコハク酸、カルボキシメチルイヌリン、またはグルタミン酸N、N-二酢酸、またはその任意の組み合わせを含み、および

非イオン性界面活性剤のカプラーは、6乃至14の炭素原子を有する酸化アルキルアミンの1つ以上であることを特徴とする、請求項2に記載の広域スペクトルの液体洗浄組成

物。

【請求項 4】

前記液体洗浄組成物は、少なくとも3か月後に、40乃至45 kGy の曝露で分解を示さず、ここで、第四級アンモニウムハロゲンは、ジデシルジメチル塩化アンモニウムであることを特徴とする、請求項3に記載の広域スペクトルの液体洗浄組成物。

【請求項 5】

広域スペクトルの液体洗浄組成物であって、該組成物は、各アルキルが、独立して、1乃至7の炭素原子を有する、第1のジアルキル、および各アルキルが、独立して、8乃至25の炭素原子を有する、第2のジアルキル；またはアルキルが12乃至18の炭素原子を有する、N-アルキルジメチルベンジル塩化アンモニウム；またはアルキルが12乃至18の炭素原子を有する、N-アルキルジメチルベンジル塩化アンモニウム、またはその任意の組み合わせを含む、第四級アンモニウムハロゲン；有機アルコールアミン、強塩基、炭酸ナトリウム、または炭酸水素ナトリウム、またはその任意の組み合わせを含む、アルカリ性剤；

メチルグリシン二酢酸又はその誘導体、イミノジコハク酸又はその誘導体、エチレンジアミンジコハク酸またはその誘導体、カルボキシルメチルイヌリンまたはその誘導体、またはグルタミン酸N、N-二酢酸を含むアルキルグリシン有機酸、またはそれらの任意の組合せを含む、キレート剤；

酸化アルキルアミンを含む、非イオン性界面活性剤のカプラー；

2~20の酸化アルキレンの反復単位を有する、少なくとも1以上のアルコキシル化した非イオン性界面活性剤；および

水、または脂肪族アルコール、またはその両方を含む、溶媒系を含み、ここで、第四級アンモニウムハロゲンは、洗浄組成物の総重量に基づいて、5重量%乃至25重量%の量で存在し、アルカリ性剤は、洗浄組成物の総重量に基づいて、3重量%乃至10重量%の量で存在し、キレート剤は、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.2重量%乃至2.0重量%の量で存在し、非イオン性界面活性剤のカプラーは、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.2重量%乃至5.0重量%の量で存在し、およびアミンアルコキシレート非イオン性界面活性剤の少なくとも1つは、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.4重量%乃至4.0重量%の量で存在し、EDTAは洗浄組成物の総重量に基づいて、1重量%未満の量で存在することを特徴とする、広域スペクトルの液体洗浄組成物。

【請求項 6】

第四級アンモニウムハロゲンは、洗浄組成物の総重量に基づいて、7重量%乃至15重量%の量で存在し、アルカリ性剤は、洗浄組成物の総重量に基づいて、4重量%乃至9重量%の量で存在し、キレート剤は、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.6重量%乃至1.6重量%の量で存在し、非イオン性界面活性剤カプラーは、洗浄組成物の総重量に基づいて、0.5重量%乃至3.0重量%の量で存在し、およびアミンアルコキシル化した非イオン性界面活性剤は、少なくとも2つの化合物を含み、1つのアミンアルコキシル化した化合物は、12乃至24の高いHLB値を有し、および少なくとも1つのアミンアルコキシル化した化合物は、2乃至11の低いHLB値を有することを特徴とする、請求項5に記載のプロセス。

【請求項 7】

第四級アンモニウムハロゲンは、ジオクチルジメチル塩化アンモニウム、ジメチル塩化アンモニウム、N-ジアルキルジメチルベンジル塩化アンモニウム、ジデシルジメチル塩化アンモニウム、およびN-アルキルジメチルエチルベンジル塩化アンモニウムの1つ以上であり、

アルカリ性剤は、モノエタノールアミン、トリエタノールアミン、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、炭酸ナトリウム、および炭酸水素ナトリウムの1つ以上であり、

直鎖アルコールは、2乃至4の炭素原子を有する且つ、洗浄組成物の総重量に基づいて、2乃至20重量%の量で存在し、

キレート剤は、アルキルグリシン有機酸、およびイミノジコハク酸、およびカルボキシ

メチルイヌリンの1つ以上であり、および

非イオン性界面活性剤のカプラーは、6乃至14の炭素原子を有する酸化アルキルアミンの1つ以上であることを特徴とする、請求項6に記載のプロセス。

【請求項8】

最初に、前記水を、攪拌槽に加え、続いて、前記キレート剤および前記非イオン性界面活性剤のカプラーを加え、続いて、前記アルカリ性剤および前記キレート剤を加え、続いて、前記第四級アンモニウムハロゲンを加え、その後、随意の前記脂肪族アルコールを加えることを特徴とする、請求項7に記載のプロセス。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

キレート化／金属イオン封鎖剤は、硬水中で洗浄組成物の効力を助けるため利用される。すなわち、キレート剤は、洗浄組成物が使用中に接触する金属イオンと相互作用する。キレート剤は、望ましくは生物分解性である。適切なキレート剤は、それについてメチルグリシン二酢酸およびその誘導体などの、アルキルグリシン有機酸を含む。他の適切なキレート剤の例は、Lanxessからの、the Baypure CX Seriesなどの、イミノジコハク酸およびその誘導体、Innospeeからの、Natrlque stシリーズなどの、様々なエチレンジアミンジコハク酸およびその誘導体、およびからBaypure CX数列など誘導体、およびSolutiaからの、DeQuestシリーズなどの、様々なカルボキシメチルイヌリンおよびその誘導体を含む。そのナトリウム塩などのメチルグリシン二酢酸が好ましい。この化合物は、活性成分として40重量%のキレート剤を含有している、液体形態でのBASFからのTriionMとして利用可能である。活性な又はそれ自体のキレート剤の適切な量は、任意の担体および水を含む本発明の広域スペクトルの洗浄組成物のすべての明記された成分の総重量に基づいて、約0.2重量%乃至約2重量%または3重量%、望ましくは約0.6重量%乃至約1.6重量%、および好ましくは約0.8重量%乃至約1.4重量%に及ぶ。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

[表1]

表A

式#		A	B	C	D	E	F
化学名	ブランド名	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%
脱イオン水	脱イオン水	63.50	66.50	67.00	68.50	68.50	69.62
ジデシルジメチル 塩化アンモニウム (80%)	Bardac 2280, BTC 1010-80%	12.50	12.50	12.50	12.50	12.50	9.38
エタノールアミン	モノエタノールアミン	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
n-プロピルアルコール	n-プロピルアルコール	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
メチルグリシン二酢酸、 ナトリウム (40%)	Trilon M Liquid	5.00	5.00	2.50	2.50	2.50	5.00
酸化オクチルジメチルアミン (40%)	Mackamine C8	5.00	4.00	4.00	4.50	3.50	4.00
ココアミン 15EO	Ethomeen C25A	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ココアミン 2EO	Ethomeen C12	2.50	0.50	2.50	0.50	1.50	0.50

20

30

【誤訳訂正4】

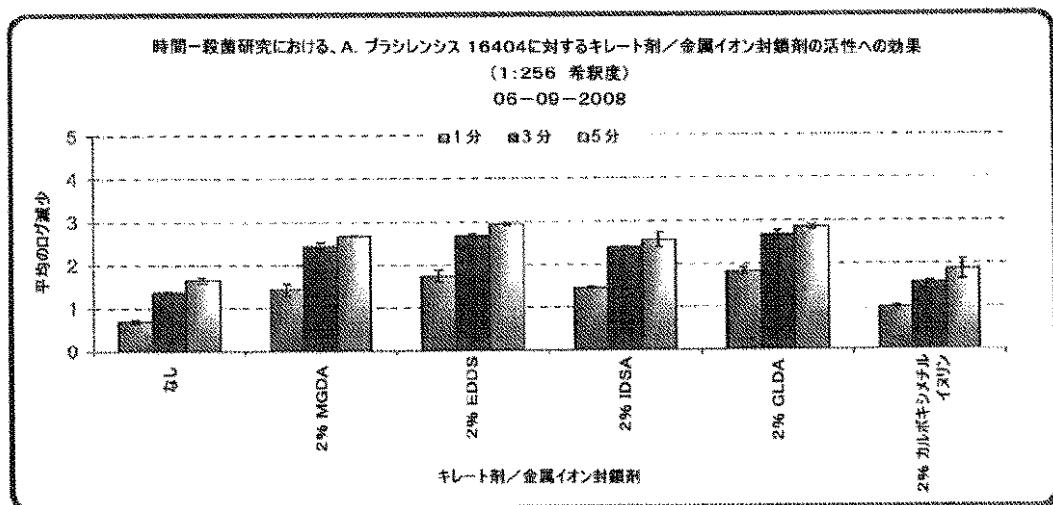
【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図1】



キレート剤／金属イオン封鎖剤の手引き

MGDA: メチルグリシン二酢酸

EDDS: エチレンジアミンジコハク酸

IDSA: イミノジコハク酸

GLDA: グルタミン酸N,N-二酢酸